

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会（第78回）議事概要

1 日時 平成23年5月17日（火） 14時00分～15時30分

2 場所 総務省第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

坂内 正夫（分科会長）、徳田 英幸（分科会長代理）、相澤 彰子、相田 仁、  
青木 節子、荒川 薫、伊東 晋、近藤 則子、鈴木 陽一、高橋 伸子、  
服部 武、広崎 膨太郎、前田 香織

（以上13名）

（2）専門委員（敬称略）

安藤 真、藤原 修

（以上2名）

（3）総務省

（情報通信国際戦略局）

久保田総括審議官、竹内技術政策課長

（情報流通行政局）

田中情報流通行政局長、稲田官房審議官、田中放送技術課長、  
坂中地域放送推進室企画官

（総合通信基盤局）

桜井総合通信基盤局長、吉田電波部長、前川基盤局総務課長、  
川崎基幹通信課長、田原移動通信課長、山田電波環境課長

（4）事務局

白川情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

#### 4 議 題

##### 答申事項

- (1) 「放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件」のうち「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」について【平成 22 年 12 月 21 日付け 諮問第 2031 号】

審議の結果、本技術的条件について一部答申を行った。

##### 【内容】

本件は、地デジやラジオ等の放送をできる限り停波しないようにするためには、どのような観点で放送設備を構築されていることが適切かということを審議してきたもの。

- (2) 「携帯電話等の周波数有効利用方策」のうち「900MHz 帯を使用する移動通信システムの技術的条件」及び「携帯無線通信の中継を行う無線局の技術的条件」について【平成 7 年 7 月 24 日付け 電気通信技術審議会諮問第 81 号】

審議の結果、本技術的条件について一部答申を行った。

##### 【内容】

本件は、地上テレビジョン放送のデジタル化及び第 2 世代携帯電話のサービス終了に伴う周波数再編により 700MHz 帯と 900MHz 帯の一部が移動通信システムに使用可能となる状況を受け、このうち 900MHz 帯を使用する移動通信システムの技術的条件と、携帯無線通信の中継を行う無線局の技術的条件について、審議を行ったもの。

- (3) 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「80GHz 帯高速無線伝送システムの技術的条件」について【平成 14 年 9 月 30 日付け 諮問第 2009 号】

審議の結果、本技術的条件について一部答申を行った。

##### 【内容】

本件は、国内では未だ利用の進んでいない、80GHz 帯を使用し、1 Gbps 以上の伝送速度を実現するシステムの技術的条件について審議を進めてきたもの。

(4)「局所吸収指針の在り方」について【平成 21 年 7 月 28 日付け 諮問第 2030 号】

審議の結果、本件について答申を行った。

【内容】

本件は、携帯電話端末など体に近づけて使用する無線機器に対する安全基準である局所吸収指針について、現行では適用範囲を 3GHz までとしているところを、今後、無線 LAN や第 4 世代携帯電話等により 3GHz 以上の周波数帯の利用が進展することを見据え、その上限周波数を 3GHz から 6GHz に変更するなど、局所吸収指針の適用範囲を拡張することについて審議を進めてきたもの。

本部会にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省 HP において公開しておりますのでご覧ください。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 猪飼、吉原

電話 03-5253-5957

FAX 03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai\_●\_soumu.go.jp

※迷惑メール防止対策をしているため、\_●\_をアットマークに置き換えてください。